

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
1	降幡 高志	高等学校 生物基礎（数研出版） 改訂版 フォトサイエンス 生物図録（数研出版）
必履修 学校必履修 ○必修選択 ○自由選択		リードα 生物基礎（数研出版） チェック&演習 生物基礎（数研出版）

◆学習の目標

- ・正しい生命観を身に付ける。
- ・生物に対しての科学的な視点と考察力を身に付ける。
- ・文系選択者の履修であり、大学入学共通テストに対応できるようになる。

◆主な学習内容・方法

- ・1年次に学習した「生物基礎」の内容について、文系選択者に合わせて取り扱う。
- ・講義や問題演習等を中心に授業を進める。

◆到達目標と観点別評価の評価規準

単元ごとの到達目標は次ページの「学習到達目標」のとおり。

〔観点別評価の評価規準〕

○知識・技能

日常生活や社会との関連を考えながら、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、説明することができる。観察・実験などに関する基本的な技能を活用し、科学的に探究することができる。

○思考・判断・表現

観察、実験などをテーマにしたリード文や資料等に多く触れ、科学的に探究することができる。

○主体的に学習に取り組む態度

生物や生物現象に対して主体的に関わり、自ら課題を設定して解決しようと行動することができる。

◆年間予定授業時間

予定時数	35時間	1学期（13時間）	2学期（14時間）	3学期（8時間）
------	------	-----------	-----------	----------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・授業：学習の「ペースメーカー」として大いに活用してほしい。その授業で自分が何をできるようになったのかを振り返る。
- ・復習：単元同士のつながりを意識して、演習を通して復習する。
- ・問題集の扱い：問題集は自分で解き進めること。分からないところは、友人と話し合ったり、教員に質問したりして、解決する。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元ごとの時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	(1)生物の特徴 (2)ヒトの体の調節 (3)生物の多様性と生態系 ↓	1 3	(1)～(3)について、分野ごとに知識の確認をしながら演習を行う。 ↓	(1) 生物の特徴について、演習を通して基礎基本の理解を深め、観察、実験などの技能を活用し、表現できる。 (2) ヒトの体の調節について、演習を通して基礎基本の理解を深め、観察、実験などの技能を活用し、表現できる。
	5				
	6				
	7				
2 学期	8	↓ 大学入学共通テスト演習	1 4	↓ 大学入学共通テスト形式の演習を行う。	(3) ヒトの体の調節について、演習を通して基礎基本の理解を深め、観察、実験などの技能を活用し、表現できる。
	9				
	10				
	11				
	12				
3 学期	1		8		
	2				
	3				